

2008年9月1日

報道関係各位

大正製薬株式会社
アボット ジャパン株式会社

「クラリス[®]錠 200」「クラリシッド[®]錠 200mg」

『MAC 症を含む非結核性抗酸菌症』の適応症承認

8月29日、大正富山医薬品株式会社(本社:東京都、代表取締役社長 大平 明)が販売しております「クラリス錠 200」*1と、アボット ジャパン株式会社(医薬品事業部本社:東京都、代表取締役社長 グレン・エス・ワーナー)が販売しております「クラリシッド錠 200mg」*1において、「マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)*2)症を含む非結核性抗酸菌症」が適応症として承認されました。

非結核性抗酸菌とは結核菌群、らい菌以外の培養可能な抗酸菌の総称で、肺などの慢性感染症の原因菌となることが知られています。特に、肺の非結核性抗酸菌症における原因菌の約70%はMACによるもので、この肺MAC症の罹患率は近年増加しています。

国内外の治療ガイドラインなどで、肺MAC症の標準治療薬の一つとして推奨されている「クラリス錠 200」「クラリシッド錠 200mg」の適応症取得により、毎年約8,000人以上の方が新規に罹患すると考えられている肺MAC症ならびにその他の非結核性抗酸菌症の治療に貢献できるものと期待されます。

*1 「クラリス錠 200」「クラリシッド錠 200mg」の一般名:クラリスロマイシン

*2 MAC(Mycobacterium avium complex):

マイコバクテリウム・アビウム(*Mycobacterium avium*)とマイコバクテリウム・イントラセルラーレ(*Mycobacterium intracellulare*)を併せたもので、肺の非結核性抗酸菌症における原因菌の約70%を占める。

【クラリスロマイシンについて】

大正製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長 上原 明)が開発したマクロライド系抗生物質で、1991年に国内で発売されました。国内では大正富山医薬品株式会社(大正製薬株式会社の連結子会社)とアボット ジャパン株式会社が販売しています。

【参考資料】

1. 「非結核性抗酸菌症」の承認内容

効能 ・ 効果	非結核性抗酸菌症 ＜適応菌種＞ 本剤に感性のマイコバクテリウム属 ＜適応症＞ マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む 非結核性抗酸菌症
用法 ・ 用量	通常、成人にはクラリスロマイシンとして1日800mg(力価)を2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

2. 肺 MAC 症の治療法

国内外の学会などでは、クラリスロマイシンに加え、リファンピシン、エタンブトールなどとの併用療法が推奨されています。